

様式第3号（第4条関係）

塩竈市議会一般会議報告書

令和6年6月21日

塩竈市議会議長 鎌田 礼二 殿

塩竈市議会事務局長



開催日時	令和6年5月25日（土）午前10時00分～11時25分
開催場所	北側委員会室
会議の議題	塩竈市小中学校の学校給食費無償化を求める請願 及び学校給食について
出席議員名	塩竈市議会 総務教育常任委員会 委員長 浅野 敏江 副委員長 佐藤 公男 委員 桑原 成典 委員 西村 勝男 委員 鎌田 礼二 委員 小高 洋
参加関係団体等名	塩釜学校給食費の無償化を求める会 代表 小澤 かつ 事務局 佐藤 省子 事務局 長沼 千恵 事務局 小高 有子 事務局 佐藤 アンナ 小関 きよみ 小幡 幸拓
参加団体等の人数	7 人
傍聴人数	14 人



発言者名	主な発言要旨等
	1. 挨拶 開会に先立ち、議長より挨拶があった。 2. 座長選出 委員長を座長に選出した。 3. 開会 座長より、開会が宣言された。 4. 出席者紹介 小澤代表より、塩釜学校給食費の無償化を求める会の出席者の紹介が行われた。座長より、塩竈市議会総務教育常任委員の紹介を行った。 5. ご挨拶 小澤代表より挨拶があった。概要は以下の通り。 自分たちはこれからそれぞれの思いを話していきますが、給食は学校の教育の一環として、教科書のように無償であるべきものとする。今日の新聞によると沖縄県も来年度から中学校は無償にするということで、全国的に無償化が広がっている。私達はいつも、財政が厳しいとは聞いているが、わずかなお金でもいいから、塩釜の子どもたちの食育のためにお金を回していただいて、少しでもお母さんお父さんの負担をなくすようお願いしたい。今日は、いろいろ率直な意見を皆さんに聞いてもらいたい。 6. 請願文書表朗読 事務局職員が請願第1号の請願文書表の要旨を朗読した。 7. 意見交換 発言の概要は以下の通り。

無償化を求める会	・ 3人の子どもを持つ保護者として、塩竈で子育てをしている。 ・ 塩竈市で育ち東京に行ったりしたが、塩竈市が好きで、この街で子供を育てていきたいので戻ってきた。 ・ 子どものころに当たり前のように給食を食べて美味しいと思いながら育ってきたが、子育てをして自分の親にこんなに負担をかけたことを知って申し訳なく思った。 ・ 給食に1人あたり年間74,800円くらいかかったと思う。子ども3人が同時に小中学校に在籍していた際は年間20万円くらいの負担であった。 ・ この20万円があれば、子どもに何ができたのだろうと思う。例えば、長男は勉強が苦手であったが、経済的な理由で塾に通わせられなかった。 ・ 学校は無償というが実際は無償というわけでもない。高校であればまず制服に10万円くらいはかかる。中学校では部費などがかかる。 ・ 生活保護を受けている方など生活困窮者に対しては補助があるが、そのちょっと上くらいの人たちに何か差し伸べて欲しい。 ・ 多賀城市の保育園で働いているが、アパートを借りやすく交通の便が良いことから多賀城市に居住する夫婦が多い。そのような方に子どもが生まれ、家を買う際に、土地の安さの面で塩竈市を検討するが、結局価格が高くて仙台市に行ってしまうケースが多い。理由を聞くと、塩竈市には保育園はあるが、一時保育や休日保育、病児保育といったサポートが無い。土地の安さから塩竈市を選んだ方からも、子育てのところでもっとサポートがあれば良いと聞く。 ・ 給食費無償化により、子育ての経済的な負担を軽減できるほか、定住促進や人口減少対策にもなるし、食育を推進できる。
-----------------	--

無償化を求める会	・ 自分なりに試算してみたが、小学校・中学校の給食費無償化には約２億円、保育園・幼稚園の給食費無償化には約１億円、合計約３億円で、塩竈市内の乳幼児から中学生までの給食費を無償化できる。 ・ 給食費無償化は財政負担が大きいものの、リターンも大きい。全国的に先駆けて取り組むことで、塩竈市の強みにできる。 ・ 議会において給食費無償化の議論がされているか伺いたい。 ・ 中学３年生、小学３年生、保育園に通う２歳の子供を持つ保護者として意見を述べる。 ・ 給食費無償化は経済的負担軽減だけでなく、子育て環境向上にも繋がる。 ・ 子育て支援は子供だけでなく、家庭や保護者への支援も必要。 ・ 塩竈市は０歳から１８歳まで相談できる窓口を設置するが、相談があって支援を受けられる形では無く、どの家庭も平等に支援を受けられるようになっていただければと思う。 ・ 利府町では、給食費無償化が今年度から中学校１・２年生に拡大している。 ・ 塩竈市は子育て支援のどこに一番力を入れようとしているのかが見えない。 ・ 給食費無償化は子育て支援として一番肌に感じやすい。
-----------------	--

総務教育常任委員	・総務教育常任委員会の中で、学校給食に関する説明を当局から受けた。その中で、無償化を求める会の方がおっしゃったように、給食費について一人当たり7万円、学校給食費の無償化には2億円程度の財源が必要とのことであった。 ・議会の中での学校給食費の無償化の議論について質問があったが、一般質問などにおいて当局といろいろやってきた。そういった点では、本日の一般会議は、委員会での開催ではあるものの、議会という一つの場合において議論する機会になったと受け止めている。 ・個人の立場で言えば無償化は進めて欲しいが、これまでの議論では2億円以上の財源が非常にネックとされている。完全無償化でなくとも、利府町のように一部から始める考え方もあるが、無償化のあり方についての考えがあればお伺いしたい。
無償化を求める会	・この会とは別に、長年保育園に勤めたこともあって、「塩釜より良い保育をすすめる市民の会」として、保護者と子育て環境について話し合い、市にもお願いしてきた者である。 ・最終的には全面無償化を認めていただきたいと思うが、無償化は自治体だけではなく、国や県、特に国が大きく動き出していくことが大事だと思う。 ・ただ、一番住民の身近にいる市町村が住民に手を差し伸べ、子育て支援をしている姿を見せて欲しいと思う。
無償化を求める会	・最終ゴールは完全無償化だと私も思っている。 ・私は元中学校教員で、約20年前には第三中学校で給食主任という立場で何年か公務分掌を持たせていただいた。 ・塩竈市の教育には素晴らしいところがたくさんある。食育にかなり力を入れている。20年前の実態ではあるがお話させていただく。

総務教育常任 委員	・各学校で調理を行う自校方式を採用しており、各学校に栄養士がいらっしゃることは大きな力であった。 ・小学校で箸の使い方をダンボールで箸の形をした模型を用いて指導したり、各学校で豆つかみ大会などをされたりするなどしていた。 ・中学校では、「リクエスト給食」が他市とは異なっていた。他市の「リクエスト給食」は、単に食べたいものをリクエストするだけであったが、塩竈市の「リクエスト給食」は給食委員が栄養士の指導を受けながら、栄養バランス、予算、調理時間、配膳時間などを考慮し献立作成を行うものであった。非常に子ども達の勉強になったと思う。 ・給食委員は、勉強になったことを壁新聞やプリントにして他の生徒にお知らせするなど、他市の給食片づけ係となっている給食委員とは一線を画していた。 ・塩竈市は食育に力を入れており、他の市町より率先して給食費を無償化していただきたい。 ・義務教育における教科書は無償化されているが、紙代は別ということは無い。同様に、給食も教育の一環として（食材費を含めて）無償化すべきである。義務教育においては、確実にどの子にも教育を受ける権利として保障するという姿勢をぜひ見せていただきたい。 ・給食費の無償化は私の中でも大事なことだと思っている。現状では、やはり財源が年間２億円ということがある。 ・一般質問で市当局に質問をするが、現状において財源の面から難しいという答弁がされている。ゴールは（完全）無償化であるが、徐々にやっていくのが私もベストだと考えている。そうやっていくためには、無駄なものをコツコツ削減していったら、それを給食費に充てていくのがベターである。
----------------------	---

総務教育常任委員	・もちろん国にお願いする考え方もあるが、最初は市独自でやっていかななくてはならないだろう。 ・さきほど、食育の実例についてお話いただいたが、箸の持ち方の話もとてもいいなと思った。リクエスト給食についても私が育った東京の学校では、好きなものが出てきたというものであったが、栄養をどれだけ摂らなくてはいけないといった教育は必要だと思う。それができていることは非常に良いことだと思う。そのような点を踏まえて今後建設的な話になって行けばよいと思う。 ・基本的には国がやるべき。国内の疲弊や格差を生んだ国の責任としてやっていただきたい。 ・例えば、今年10月から青森県では給食無償化を実施する。費用負担割合は、1食340円であるなら県が300円、市町村が40円。これを塩竈市の費用に当てはめると県の負担が1億7000万円で市が3000万円になる。この額であれば机上に上がるのではと思う。独自で市で無償化とすることは難しいとは思いますが、自助努力でやれることはやるべきだと思う。 ・給食センターの話もあるが、人件費や設備衛生費を合理化して削減し、それを給食費の減額に充てられるのではないか。
無償化を求める会	・給食費無償化を求める署名を集めたときに、多くの人の声を聞いた。 ・若い方は塩竈市を愛している方も多い。 ・あるお年寄りの方は、自身の給食費に関する大変な思い出があり、若い世代に同じ思いをさせたくないという気持ちで署名を集めた。

無償化を求める会	・ 小学校３年生のお子様を持つ方は、塩竈市の子育て環境の良さを実感し、自衛隊の基地がある東松島市から塩竈市に戻ってきた。塩竈市は神社、海、美味しい食べ物、仙台へのアクセスなどが良い。これに子育て施策があつたら本当に良い街だと言っている。自己責任の世界で育ってきた身とすれば、塩竈市が給食費無償化で動き出してくれたら、市が自分の子育てを応援してくれるものと大変心強く感じる。 ・ ７０代の女性の方は、給食費を払えないことで、貧しいということが恥ずかしかったという経験があり、給食費無償化によってそのような思いを子どもたちにさせたくないという気持ちで署名を集めた。 ・ 養護学校に通うお子様を持つ方は、給食の美味しさや、他の市町村では体験できない生のフルーツの提供など、塩竈市の給食の良さを感じており、これからも頑張っていて欲しいということであった。 ・ 給食費無償化は、公立小・中学校だけでなく、養護学校や支援学校に通う子どもたちにも広げて欲しい。 ・ 給食費無償化の実現に向けて、具体的な財源や実施方法の議論はちょっと後回しとし、まずは無償化求めていく。一気に実現することは難しいと認識しつつも、段階的に進めることは結果としてはあるかもしれない。 ・ 子育て世代は、１番目には医療費無償化の対象年齢を１８歳まで引き上げること、２番目には給食費無償化、３番目には保育費の軽減を求めていることがアンケートの結果で判明している。医療費無償化は県内でもほぼ進んでおり、その次である給食費無償化に向けて取り組んでいる。 ・ 従来の「子どもが食べる分は親が負担すべき」という考え方を改め、食育の一環、教育の一環として給食費無償化を進めるべきである。国会でも給食は食育、教育の一環として行うものであることを確認されている。
-----------------	--

無償化を求める会	・給食には、単に食べ物が提供されるだけでなく、子どもたちの体と心を育む役割がある。 ・「地産地消」に加え、「身土不二」の考え方を取り入れ、子どもの時期にきちんと行政として応援できる体制ができれば非常に良い。 ・無償化は国が責任を持って行っていただきたいという話を国や県にあげていただきたい。 ・教育の質の低下は絶対に避けていただきたい。 ・センター方式は建設用地の確保や建設費用、食中毒防止策をとりつつ温度を保って同じ時間帯に配送する必要があることを考えると、費用対効果の点から疑問がある。 ・センター方式であると、学校の教育課程の都合で給食時間を変更することが出来なくなり、その際は弁当持参となる。 ・自校給食方式によって各学校に栄養士が配置されていることは強みである。 ・センター方式であると、学校に栄養士が不在であり学校教諭が給食の必要数を毎日確認して伝える必要がある。 ・以上のことから、給食センター化については危惧するところがある。
総務教育常任委員	・自身の議員活動として、一般質問では教育問題を必ず入れてきた。 ・振り返ってみると、予防接種、教科書無償化、授業料無償化と進んできた。次は給食費無償化ということで必要だろうと思う。

	・給食費無償化は人口増加策にもなると考える。 ・給食費無償化は国で行うべきであり、国会議員にも機会をとらえて話をしている。 ・利府町では町長が無償化の公約を掲げていたが、一部学年から無償化した。自主財源で全部無償化することが難しいことが分かっているのだと思う。 ・気仙沼市は９５億円のふるさと納税を原資に無償化を行った。塩竈市もそうになって欲しいがなかなかそこまで行っていない。 ・さまざまな手段で進めて行きたいと思うが、当局の現状では何としても市では出来かねるようである。
無償化を求める会	・塩竈市では全く予算を出せないという意味なのか。
総務教育常任委員	・そうではなく、議会は二元代表制のひとつとして、市が提示した予算を審査し議決するという形である。予算の執行権は行政にあり、それに対して議員が意見を言って変えてもらったり、要望していれてもらったりというのが実態で、そういう苦しさはある。
無償化を求める会	・議員として意見を出すときに、少しでも財源を回していただけるよう市に意見を挙げていただきたいと思う。
総務教育常任委員	・青果商として３０～４０年くらい学校給食と関わりがある。無償化すべきという意見は分かるが、今塩竈市でも厳しい経済環境ということもあって、新鮮なものでは無く冷凍食品を業務用食品卸売商社から購入し、なるべく経済的負担をかけないようにしている。そのため、産地が分からない可能性もある。なるべく安価なものであるということが果たして良い

	かということがある。食育の点では、なるべく良いものを食べていただく工夫が欲しい。栄養士が経営者になりつつあるので、経済面だけではない部分に意識をかけなければならない。各議員がここだけはと訴えていきながらそれぞれの思いを伝えている。
総務教育常任委員	・先ほどの費用対効果という言葉については、少しは民間の感覚も必要ではないかということを申し上げたかったのでご理解いただきたい。
無償化を求める会	・東日本大震災の際に、保育園に勤めていたので園児をつれて第三小学校に避難した。その中で、学校の給食室の設備が住民を助けたということを感じた。あの設備が無ければ救援物資は回らない。防災の観点からも各学校に給食室を残すことは大事ではないか。
無償化を求める会	・委員にお伺いしたいが、市町村で無償化をやらなければならないということになると、塩竈市のように財源が不足する自治体と、財源にゆとりがある自治体とで格差が生じるが、やはり市町村でやらなければならないのか。 ・給食費無償化の活動を行っている、給食費を無償化にするとクオリティが下がってしまうという意見があり驚いている。クオリティを維持するのは大前提だと思う。 ・塩竈市は貧富の差が大きいと感じている。現在の低所得者世帯の子どもが給食費を無償化することでは、自分の家が貧しいからだと言われ目を感じる。そういった思いをさせないためにも全児童生徒を無償化することは大きな意義がある。 ・今の塩竈市の給食は品数が少なく足りているのだろうかと思ったりする。 ・クオリティを下げずに無償化をしていくことを一緒に考えていきたい。

総務教育常任委員	・本来であれば給食費の無償化は国で出来るはずなのだが、やらない。それが現実なので、まずは自治体でやっていこうとする気持ちが必要。 ・必要のない色々なものを削減して、それを給食費に補填する。その後、国が無償化したらその財源は他に充てられる。
無償化を求める会	・ある１年生の子どもの詩を紹介させていただく。 「お母さん学校すごいんだよ。僕の机僕だけの机、僕だけのロッカーがあるんだよ。そしてね、黒板って言ってね、国語は字の勉強するんだよ。算数は数字を勉強するんだよ。体育はね、外で遊ぶんだよって。そしてそして今日はバナナ出たんだよ。」 このように、誰もが感じた学校の楽しさの一つに給食がある。 ・塩竈の子どもをだれ一人取り残すことなく、給食が美味しく食べられるようにして欲しい。給食費の未払で嫌な思いをすることなく、誰もが同じように給食を食べられて楽しい学校になって欲しい。 ・自校給食方式は塩竈市の自慢である。確かにお金はかかると思うが、一人一人が見える給食をやって欲しい。
無償化を求める会	・議員が無償化について考えていない、ということがないことがはっきりしたので安心した。段階的にやっていく方法や、市が率先してやるべきという意見をお持ちの方もいて、いろいろ議員が考えてくれたことが分かったので、実りある会議になったかと思う。 ・県に言っても国でやるべき、国に行っても国でやれることはやっていると逃げていくということを個人的にも感じているので、その中でも少しでも前進させようという声があったのは良いことだと思う。

	・子ども食堂にしても、国で補助を出しているが、本来が子ども食堂をやらなくてはいけない状況に陥るのがおかしい話だし、それを誰かの善意でやらなければならない状況もまたおかしい。国でやるのを待っていては、この街が無くなってしまうので、少しでも前進させようとする姿勢を見せることが塩竈市の生き残り策の一つではないか。 ・委員から民間の力をという話もあったが、民間だけでは無く市民の力をぜひ活用してもらって、より良い塩竈をつくっていけばいいのかなと思うし、この会議が給食費無償化に向けた第一歩となる会議になったという認識で間違い無いでしょうか。 8. 閉 会 座長より、閉会が宣言された。
--	--